

タイトル

富士登山者数について

I 【平成 26 年度（7 月 1 日～9 月 14 日の登山者数について）】

富士山の登山シーズンが終了したことから、富士山吉田口登山道の登山者数について報告します。

カウント場所■富士山六合目安全指導センター

カウント時間■24 時間

カウント期間■7 月 1 日（火）～9 月 14 日（日）（76 日間）

平成 26 年度（7 月 1 日～9 月 14 日）富士山吉田口登山道の登山者数は、208,328 人となりました。（9 月 1 日～9 月 14 日までの登山者数は 31,874 人）

今年は開山日が 9 月 14 日まで延長されましたが、9 月以降の登山者数も 7・8 月と比べて大きく増加することはありませんでした。

今年の特徴として、登山者数が減少したことについては、登山シーズンはじめに残雪が多いことや山頂のトイレが開いていないという情報により、登山者が 7 月初旬の登山を敬遠したことや台風などによる天候不順、マイカー規制の日数が増えたことが大きな要因であると考えられます。

また、弾丸登山と思われる時間帯の登山者数が減少しているのは、これまでの報道等による PR により夜行ツアーバスなどが大幅に減少したことや今年はマイカー規制中のシャトルバスなどの運行時間を週末の金曜日・土曜日を最終午後 6 時 30 分としたことが大きな要因であると考えます。

内容

●登山者数(過去8年間)	
年度	登山者数
H19	194,007
H20	247,066
H21	241,436
H22	259,658
H23	228,775
H24	246,616
H25	232,682
H26	208,328

●弾丸登山者(PM21～24)	
年度	登山者数
H19	27,426
H20	33,477
H21	31,384
H22	38,710
H23	26,905
H24	30,638
H25	21,343
H26	16,559

●8千人以上の登山者数	
年度	日数
H19	5
H20	6
H21	4
H22	9
H23	2
H24	4
H25	0
H26	0

※H25 年度までは 7 月 1 日から 8 月 31 日までの集計。

H26 年度は 7 月 1 日から 9 月 14 日までの集計。

II 【 ふもとから登ると富士山の魅力は倍増します！ 】

【馬返（うまがえし）「お休み処」も大いに賑わいました】

富士山「お休み処」は、今も馬返(標高 1,450m：一合目下)に残る大文司屋を休憩所として“復活”させ、富士山の麓のまち、富士吉田市ならではの富士登山の歴史・文化や富士山の自然を多くの人たちに体験していただくきっかけとなりました。

本事業は「歩こっ！富士山」事業の一環として平成 9 年から実施し、今年で 18 年目を迎えました。

富士山の世界遺産登録 2 年目をむかえ、昨年同様に麓から登れる吉田口登山道が注目され、多くの方々がこの「お休み処」を訪れました。

開設期間■平成 26 年 7 月 1 日(月)から 9 月 14 日(日)までの 76 日間

開設時間■午前 9 時から午後 4 時

機能■給水・麦茶サービス、パンフレット配布、避難小屋

勤務■市民ボランティア、世界遺産ガイドマイスターなどにボランティアでの参加を呼びかけ、開設期間中、2 名以上を配置

実績■本年度・吉田口登山道通過者数：19,152 人（1 日当たりの通過者 252 人）
昨年度・吉田口登山道通過者数：18,024 人（1 日当たりの通過者 290.7 人）
※H25 年度は 7 月 1 日から 8 月 31 日までの集計。

III 【平成 26 年度富士山八合目富士吉田救護所実績報告】

富士山八合目富士吉田市救護所は、富士山八合目富士吉田市救護所運営協議会（会員：富士吉田市、山梨大学、富士吉田市立病院、富士山吉田口旅館組合）により、平成 14 年より富士山八合目標高 3,100 ㍎の太子館内に設置され、八合目以上で多発する登山者の怪我や病気などの診療にあたっています。

設置場所■富士吉田市上吉田字富士山北向 5618（八合目）
太子館内（標高 3,100m）に併設 診療所面積 14.29 ㎡

開設目的■登山者等の傷病に対する応急処置（診療費は無料）

診療科目■内科・外科の傷病に対する応急処置

開設期間■平成 26 年 7 月 19 日(金)～7 月 21 日(月)
7 月 24 日(木)～8 月 25 日(月) 36 日間

従事体制■医師 1 人と看護師などの補助員 3 人（合計 4 人）を基本として班編成を組み、3 日間のローテーションで従事

※勤務については、無給ボランティア（休暇）として対応
17 班編成 述べ人員（医師 26 人・補助員 46 人・準備撤収係 7 人）
合計 79 人

受診者数■270人（1日平均7.5人受診：昨年9.36人）

●主な傷病・患者数内訳※抜粋：括弧内は全体に占める割合

高山病（疑いを含む）	164人（60.7%）
捻挫・打撲・筋肉痛	29人（10.7%）
外傷	27人（10.0%）
心・呼吸器	22人（8.0%）
消化器	9人（3.3%）
皮膚	6人（2.2%）
その他	14人（5.1%）

年度別受診者数

年度	受診者数	開設期間	登山者数	年度	受診者数	開設期間	登山者数
H14	355人	37日間	171,035人	H21	451人	39日間	241,436人
H15	317人	37日間	150,804人	H22	460人	42日間	259,658人
H16	347人	37日間	147,061人	H23	398人	42日間	228,775人
H17	295人	39日間	141,472人	H24	420人	44日間	246,616人
H18	424人	45日間	167,368人	H25	384人	41日間	232,682人
H19	450人	45日間	194,007人	H26	270人	36日間	208,328人
H20	502人	39日間	247,066人				

【運営はボランティア】

運営は、山梨大学医学部附属病院をはじめ、県内外の医療関係者のご協力いただき、医師・メディカルスタッフなどがボランティアとして従事しております。また、富士吉田市立病院にて医薬品・診療材料の準備を行っております。

【継続的に安全登山のPRを】

富士山には登山を不十分な計画や装備で臨む登山者が多いため、安全登山のための情報周知がさらに必要です。また高山病患者は五合目を夜間にスタートしてそのまま山頂の御来光を目指す「弾丸夜行登山」の登山者が多いことが想定されますので、その危険性を広く周知し、関係機関にもご協力いただきながら安全・安心登山を推進していきたいと考えています。

問合せ先	富士山課	担当者名	渡辺	連絡先	内線 422
備考					